

公民館報

坂城

平成30年
2018.9.21
No.387

発行／坂城町公民館
〒389-0602

発行人／清水 守 編集／広報部
長野県埴科郡坂城町大字中之条 2468

印刷所／滝沢印刷（同）
TEL.0268-82-2069



❖主な内容❖

ふるさと探訪PART102	2～4 P
新副館長挨拶・行事	5 P
第63回成人式、500字リレートーク	6～7 P
お知らせ、館説 開畝	8 P

20歳に乾杯！『成人式』

8月15日（水）坂城町成人式を開催しました。今年の成人式該当者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日生で、154名です。

成人式に続いて、成人式実行委員の企画運営による成人祭が行われ、恩師からのお祝いのことばや、レクリエーションで盛り上がりました。

新成人のみなさんのますますのご活躍をお祈りします。

（関連 P6）

村上地区を通った中世の道(その4)

今回のふるさと探訪は、前々号から掲載している中世の街道の研究を長年続けている浅野井坦さんの寄稿です。

○上山田の舟着場

上平を通っていた道は新山に達するが、上山田小学校の東が舟着場の伝承の地である。『更科・埴科地方誌』で、坂城以北の主要交通路は、千曲川左岸と伝わっている。坂城以北で左岸へ渡る適地は荻屋原と磯部の間の岩崎付近で、近くに見張地を意味する「見付」があり、かつては国道脇に舟つなぎ岩とよばれる大岩もあった。今は坂城町教育委員会による標柱が建っている。ここ上山田の舟着場とは最短距離で結ばれている。これが後世の舟の渡の原形である。

船着場から西へ上がった高台は、主要な道の交わる「辻」である。南西の見性寺門前は「宿」で網掛と同じく「シヨク」と発音してい



新山の宿付近

る。また交通関係の「橋場」の屋号を持つ家もあるし、東方の寺沢川には明治のころまで「馬継所」の地名も残されていた。昔の千曲川の本流は、ずっと西の方へ寄っていたのだろう。ここから「越道 御屋敷」を越え、四十八曲峠を通って、元更級郡だった麻績方面への通行は、中世の頃には盛んに行われたと考えられる。

上山田の舟着場は、やがて北へ移ったようで、女沢川を渡った水上地区では、今も常会名を昔からの名として「宿」としている。そして北へ向かう道を「宿通り」「両側の家並を「宿の町」とよんでいる。しかし、見性寺前と異なり、宿は「シヨク」と発音している。

○上山田の城絵図

水上の宿を通って北進した道は、上山田温泉に到着する。西には荒砥城のある城山が見える。掲げた図は森庄蔵作の荒砥城と推定されるもので、原図は色つきである。

図の左辺に「村上持、下山田、森氏書之、此方二押城一ヶ所」とある。今ある



水上の宿通り

温泉街は明治以降にできたもので、上山田の集落などは全て南に展開していた。そのため「下山田」と記したのだろう。また城名など伝わっていないかったように、「村上持」と記されている。

上辺には「此方皆山也」とか「詰城者此南方山二有、至高山也」と記されている。しかし荒砥の詰城は北方に位置しているはずである。島館同様に方位をまちがえたのではなからうか。下辺には千曲川が流れ、図の右辺本郭下に「川迄六十一間(約一一〇m)」と記され、山城であっても川の持つ重要性に触れられている。本郭は十間(十八m)×十一間(十九・八)の広さである。虎口は下辺にあるが、戦国後期の修築と見られ、石組みが多く用いられている。現在整備されている荒砥城は正確に復元したものではない。敗戦後戸倉上山田温泉誘客のため、城山に遊園地を作ろうと、山頂一帯

は調査もせずに削平された。その際、遺構はすべて破壊されてしまった。

その後、愛知県足助地方の城をモデルにして、縄張りを決め模式的に構築したと聞いている。完成した城跡に石垣が多くある

が、当地方にそれが出現するのは天正期（一五七三～一五九二）以降とされている。

○屋代氏と水運

荒砥城は村上支族山田氏の要害とされているが、同

氏の事蹟については、よくわからないことが多い。屋代一重山を本城とする村上支族の筆頭であった屋代政国は、天文二十二年（一五五三）武田晴信による村上義清攻めの時、対岸の塩崎氏を誘い、麻績から

進攻する武田氏方に卒先して味方した。義清は、北信諸士の援軍の進路を断たれることとなり、葛尾城は自落してしまった。

荒砥絵図

政国はその功績により、晴信から新砥（上山田以北）の地を与えられた。永禄二年（一五五九）には、新砥の他に山田庄内（上山田以南）と戸倉など隠居料として得た。上山田の鎮城が荒砥城で、ここは屋代城より要害堅固なところで、交通上でも要地であったため、政国は以降ここを本城としたよう

ある。

永禄年間の政国の書状に、次のようなものがある。訓読は次の通りである。

返々、明日届候様たのみ入候、それまで届候ふせん扣おかれべく候。葛山上野殿より杉板給申し候、只今耕作の時分、申兼候といえども、

板二枚宛届候て給わるべき由たのみ入候。恐々謹言

卯月十三日

政国（花押）

出羽守 殿
佐渡守 殿
左京亮 殿
民部丞 どの

手紙の内容は、葛山衆の上野氏から杉板を得た。耕作で多忙の時だと思うが、四人で明日届けるように頼

み、また届けてある舟を引きとめておくよう指示している。ふせんとは舢舨船つまり、はしけ舟のことで、「扣」は控えるとか引きとめるの意である。戦国時代当地で舟が使われていたことを示す文書で、舟は材木など重いものを運ぶ場合、便利だったことがわかる。

上野氏は裾花ダム北に住む土豪であるが、どうやって杉板を運んだのだろうか。このころ裾花川は今の



証城山と八王子山との鞍部

ように犀川に流れこんでいなく、県庁南あたりから東へ曲がり、直接千曲川に注いでいたと思われる。

森庄蔵の絵図に川までの距離が示されているのは、先の文書のような背景が広くあったためと思われる。以上のように川はまさに道だったのである。

○舟山守護所

荒砥城の東山麓を北へ進んだ道は八王子山に登る。尾根の証城山と八王子山との鞍部、上山田の人は「古峠」、更級村の者は「越道」と呼んでいる。峠はかつて佐良志奈神社のあった地とされている。

近世初期、標高の低い東方に万治峠が開かれたが、ここは忘れ去られてしまっている。峠から若宮の西の集落へ向かうが、この地は弥生時代の細形銅剣（長野県宝）が出土した地である。この北に「大道西」の地名がある。そこから東方一帯は、黒彦千軒の旧地が残

る。これは一〇〇軒もの家があるというのでなく、多くの人家が集まっていたことを意味し、非農耕民集落だったと考えられる。黒彦千軒は慶長年間初めごろ、千曲川の大洪水で消滅したとされる。その北に信濃一国を統轄する守護所が置かれていた小舟山がある。大道はここに通じていたはずである。

この近辺は鎌倉時代、北条氏の所領が多かった。同氏が亡びた南北朝時代、守護所が小舟山に置かれ、約五十年続いた。戸倉の地は政治・軍事の中心地となり、信濃各地への道路整備がはかられたにちがいない。

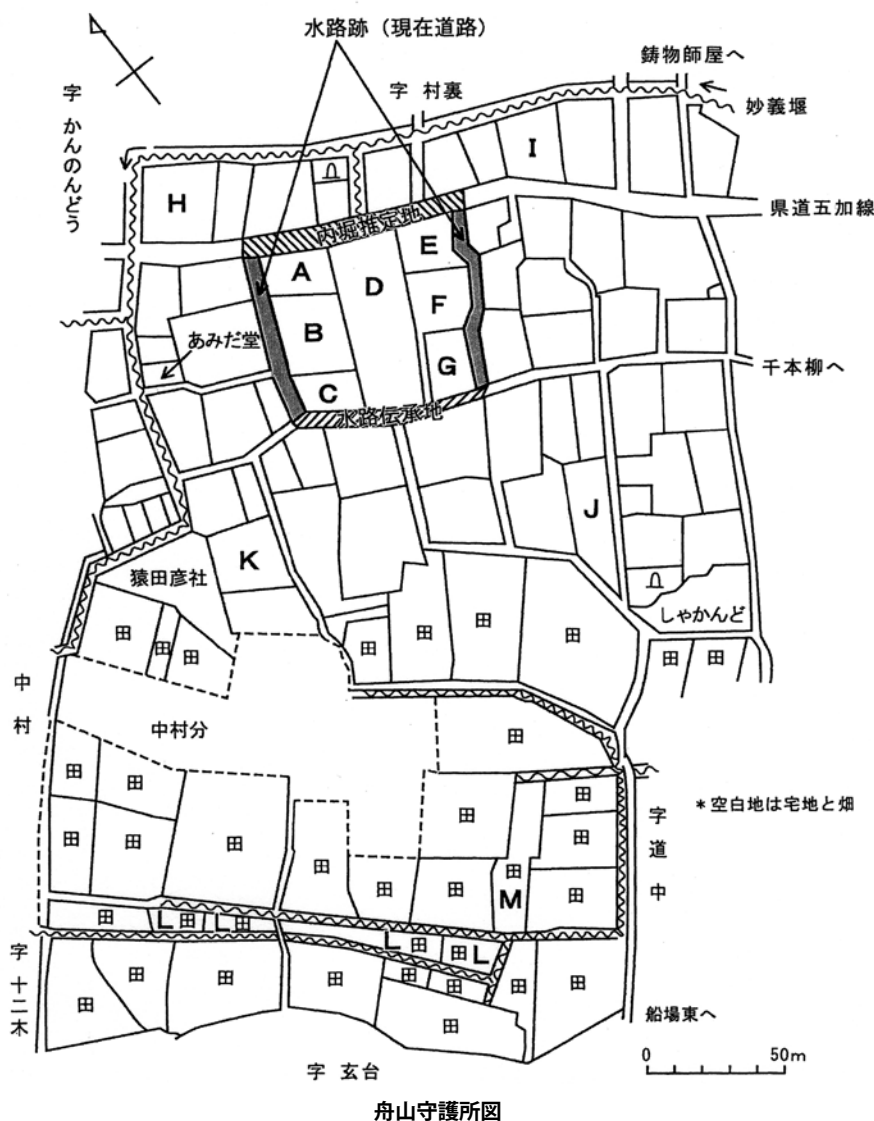
掲げた図は舟山守護所と推定されるもので、その前身は北条氏の居館跡だったと思われる。AからGが本郭で、HからKまでの内部が外郭である。

時代が下がり戦国時代には、小土豪が本郭のみを用いたらしい。水害などのため旧状を失っていて土塁な

どは残されていない。鬼門に墓地があり、猿田彦神社、あみだ堂、しゃかんど（釈迦堂か）が周囲にあつて、堀などを巡らした回字形の館だったらしいことがわかる。

大正橋西と戸倉の小林山の間は一・二kmである。小舟山近辺の千曲川氾濫原の幅は、二倍以上に達し千曲川の乱流網状流地帯である。千曲川は小舟山の東を流れたり、西を流れたり

したことがあつたはずである。分流も多くあつて、その多くは用水路となっている。明治初年の小舟山と北の中区は、更級郡に属し、向八幡村と呼ばれていた。（網掛 浅野井 坦）



坂城町公民館の副館長として、七月より再来年の三月まで新たに内山市子さんが就任しました。みなさんよろしく願います。

『参加してみてわかること』



副館長 内山 市子

この度、七月より前任の中沢利子さんに继いで、公民館副館長を務めさせていただきますことになりました。

まだわからないことばかりですが、清水館長のもと公民館主事の方々と多くの皆様にご指導いただきながら、務めさせていただきますと思っています。

私は以前地域のつながりを、時に厄介に思うこともあったのですが、地区分館役員や、スポーツ行事などを通

して、地域での交流の大切さや楽しさを痛感し、多くのことを学んだように思います。やはり、自分が参加して活動してみないとわからないことが、沢山あると思います。

地域の多くのみなさんが気軽に参加できて、楽しくつどい、学び、また人と人との絆から、思いやりや助け合いの心が生まれ、それが地域に大きな力となる、そんな公民館活動を目指していければと思っています。どうぞよろしく願います。

春のスポーツ大会開催

5月20日(日)春のスポーツ大会を行いました。ソフトボール23チーム、ビーチボール29チームが熱戦を繰り広げました。結果は、次のとおりです。

試合結果

ソフトボールの部	優勝	準優勝
Aブロック	月見	込山
Bブロック	新地	町横尾
Cブロック	四ツ屋	上平
Dブロック	上五明	日名沢
Eブロック	網掛	金井

ビーチボールの部	優勝	準優勝
第1ブロック	四ツ屋A	込山A
第2ブロック	入横尾A	横町A
第3ブロック	込山B	金井B
第4ブロック	新地B	四ツ屋B



納涼音楽会開催

今年も納涼音楽会を、坂城音楽愛好会と町公民館の共催で7月8日(日)に開催しました。

第40回目の開催となり、11団体の参加がありました。

今年は3小学校・中学校、坂城高校の全学校の参加があり、大変盛り上がった音楽会となりました。



コカリナ演奏(アルストロメリア)



坂城高校合唱部

分館役員研修会開催

6月21日(水)分館役員として、地域の特性を活かし、分館相互の情報交換を通して、明るく住みよい、地域コミュニティづくりを推進するための分館役員研修会を開催しました。

今年度は泉区の本間努さんを講師に「泉分館 区民文化祭の取組み」についての研修会と、その後、2つの分散会に分かれて、第一分散会では「独自事業の工夫」、第二分散会では「AEDの使用研修」を行いました。

当日は、分館長さんをはじめ、大勢の分館役員約80名が参加され、住民の絆を深める取り組みについて、活発な意見交換がされました。



新成人おめでとう

第63回 坂城町成人式 開催

成人のことば

木原 潤也



謝しております。

新成人を代表いたしました。まして、僭越ではございますが「成人のことば」を述べさせていただきます。

本日は、私たちが成人を迎えるにあたり、山村町長をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、このような盛大な成人式を開催していただき誠にありがとうございます。

また、このように無事成人式を迎えられたのは、先生方、地域の皆様、両親や家族など、多くの方に支えていただいたお蔭です。私たちに関わって下さった全ての皆様に本当に感謝

姿で会えることをとても楽しみにしております。

本日「成人のことば」を述べるにあたり、これから私たちがより良い幸せな人生を送るためにも、若い今だからこそある自由な選択肢の多さについて、少し考えてきましたので、そこから何か感じていただけたらと思います。世界の幸福度ランキングというものをご存知でしょうか。一位はフィンランドですが日本はというとなんと五十四位。このランキング付け

新成人のみなさん、中学を卒業してから早いもので六年がたち、このように元気で成長した

には六つほどの条件があるのですが、なぜこんなにも日本が低いかというと、一位のフィンランドと比較したときに一番差があるのは「人生の選択の自由度」です。フィンランドは、保育園から大学まで国がサポートしてくれるのでほとんどお金がからず、私たち二十歳くらいの同世代の大学生は学費や生活費を考えなくても良いので、自分の学びたいものごととん学ぶことができます。また、就職し



町長から成人者へ記念品贈呈

た後も何か違うなと感じたら、また大学をやリ直せることも一般的なことす。国が保証してくれるからこそ、お金に縛られることがなく自由な選択をすることができます。それに比べて今の日本は、教育費が高く、普通、世間一般と言われる抽象的なものに縛られがちな世の中だと思います。フィンランドと日本、生きていく上での自由度の違いがこの幸福度にあらわれていますが、その自由度を選んでいるのは結局自分自身です。特に今は、たつた二十年間しか生きておらず、まだ知らないこと、わからないことだらけで、本当ならもっとたくさんの可能性や自由を選択でき

る時期なのに、周りがそうしているからとか、ここまでのいいやなど、そういう自分に対しての線引きする行為自体縛りがうまれ、自らの選択の自由、そして幸せを逃しているのではないかと感じました。せめて、自分の可能性を自分で潰すことだけはしたくないです。私も今後の人生を後悔しないためにも多くの事に挑戦して、これから



成人祭(抽選会)

成人式実行委員

片桐 凌 さん
比嘉 かつお さん
(実行委員長)
遠藤 悠菜 さん
柳澤 佑人 さん
花岡 由希子 さん
朝倉 竜樹 さん
関 菜花美 さん
田中 小夏 さん
宮下 彩乃 さん
柳沢 和 さん



を支えて下さる方々に感謝をしながら、一社会人として貢献していけるように頑張りたいと思います。
以上をもちまして「成人のことば」とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

地元再発見

平林 順一

村上の県道沿いでコンビニエンスストアを始めて、もうすぐ三十年になります。

その間、仕事や日々の生活に追われて、立ち止まる余裕もなく過ごして来てしまいました。

一昨年、息子が山梨県の大学に進学した事をきっかけに、初めて富士河口湖町に行きました。河口湖から見た、冠雪した富士山はすばらしく、本当に感動しました。今まで富士山については、テレビや写真で十分に見て知っているつもりでした。しかしその場所に行ってみると、美しさと存在感に圧倒されました。

昨年は、義父に誘われて、戸隠神社奥社に初めて行きました。これも、何度も話している、自分の中で

は半分行った事があるような場所でした。しかし実際は、参道の大杉の迫力や戸隠山の景色も想像以上でした。

知っているつもりのも、その場所へ行って感じる事が大切なんだなと思います。

若いつもりが、もう五十歳半ば目前です。子育てももう少しです。子供との時間も大切に、妻と一緒に地元のすばらしい場所を探しに出かけたいと思います。

次回は上五明の山城和史さんです。よろしく願います。



公民館

『K・アートギャラリー』開設!!

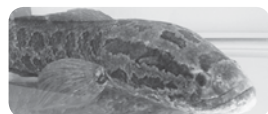
昨年より、文化センター内2階ロビーにおいて『アートギャラリー』を開設しています。皆さんの丹精込めた作品(絵画・書道・俳句・短歌・川柳・陶芸・木彫等々)を期間限定で展示しています。

今年から、ショーケースの展示も始め、成澤ルビーさん「レジンフラワー」、関戸由美さん「ミニチュアドールハウス」、さかき和布の会「すずめの学校」(現在)を展示しています。皆さんどうぞ鑑賞にお出掛けください。

なお、展示等を希望される方は公民館までご連絡ください。(展示料は無料です)

◎問い合わせ先 坂城町公民館
(文化センター内)

電話：82-2069



アートギャラリー・マスコット
ライギョの“ギョラ”ちゃん

さかきふれあい大学教養講座 「トリオコンサート」

クラシックからポップス、ジャズまで幅広く演奏活動している川島さん（坂城町出身）、富田さん、川崎さんのトリオコンサートを開催します。音楽をより身近に感じていただき、息のあった魅力ある演奏を堪能しませんか。

日時 10月27日(土)
午後2時～3時30分
会場 坂城町文化センター 大会議室
受講料 無料
出演 川島亜子さん(サクソフォーン)
富田千春さん(チェロ)
川崎龍さん(ピアノ)



ライフ・ステージエコー2019 「クラシックコンサート」

日時 1月12日(土)
開場:午後1時30分 開演:午後2時
会場 坂城テクノセンター
チケット 一般1,300円、小・中学生700円
11月12日(月)から発売開始
販売先 実行委員又は教育文化課生涯学習係
(文化センター2階)
出演 東京アーティスツ合奏団

※当日券は一般1,600円、
小・中学生800円で販売
予定ですが、数に限り
がございますので、
チケットは早めにご購
入ください。



人権を尊重し豊かな福祉の 心を育む町民集会

今年も一人ひとりの人権が尊重され、地域でふれあい、豊かな福祉の心を育むことを目的に開催いたします。

日時 12月1日(土)
午後1時～4時
会場 坂城町文化センター 大会議室
受講料 無料
内容 南条小学校児童による人権作文の発表
映画上映『言葉のきずな』



今後の行事予定

《秋の行事》

- ◆町民運動会 10月7日(日)
- ◆青少年健全育成交流会 10月27日(土)
- ウォークラリー大会 10月13日(土) 28日(日)

《冬の行事》

- ◆スケート教室 (対象:小学校4年生～中学生)
11月10日(土)
- ◆スポーツ少年団交流大会
12月9日(日)
- ◆元旦マラソン(誰でも参加OK)
1月1日(元日・火)
- ◆スキー・スノーボード教室 (対象:小学校4年生以上)
1月20日(日)
- ◆席書大会書初展
1月4日(金)～6日(日)
- ◆分館対抗球技大会
2月24日(日)
- ◆子ども茶の湯教室
3月2日(土)
- ◆坂城町囲碁大会
3月17日(日)
- ◆坂城町将棋大会
3月24日(日)

説 開 館 歌

今年の夏は、全国的に猛暑日が続く、各地において熱中症で大勢の人が病院に運ばれ、夏休み中の学校のプール開放が中止になったり、夏休みが一週間延長になったりなど、今までになかったようなことが起こり、話題になりました。

坂城町も例外ではなく、小・中学校の三階の普通教室に急きょエアコンが設置されニュースにもなりました。町の気温の記録を見てみると、七、八月の毎日の最高気温について、それぞれの日の過去の平均を超えた日数が、昨年は三十七日だったのに対し、今年は五十一日でした。昨年も暑かったという印象がありますが、今年はそれ以上に暑い夏だったということがわかります。

文化センターの南側に桜の木が何本かありますが、この夏に葉が大分落ちてきているのが目立ちました。紅葉も過ぎていないのになぜなのか、いろいろ調べてみるとこれも暑さの影響があるようです。七、八月は高温で雨が少なかった

ため、土の中の水分量も乏しくなっていたと思われるかもしれません。このようなとき、水分を十分に吸収できない樹木は、水を必要とする光合成を控え、自分の身を守るために、自ら葉を落とすような仕組みになっているらしいのです。これは、日陰や水のある所に自由に移動できない植物が自分の命を守るための究極の手段なのかもしれません。

樹木には、このほかに、細菌や害虫から身を守るために、フィトンチッドと呼ばれる揮発性物質を出す働きもあるそうです。フィトンチッドは「植物」と「殺す」を意味する言葉からつくられた造語ですが、人間には、リラックス効果を与えたり病気への免疫力を高めたりしてくれる有益なもので、森林浴としても広く知られています。

私たち人間が太陽のギリギリの光から逃れて木陰で暑さをしのいでいるときに、その裏でその木陰を与えてくれている樹木が必死に生きながら、人間に安らぎや健康のもとを与えてくれていることを改めて知らされ、樹木に対してのいとしさを感じさせてくれた夏の暑いひとときでした。